

都農町 地域資源マップ

5月20日 グループ20



1

可愛いお地藏さん

都農町にはたくさんのお地藏さんがいる。中にはワンピースを着ていることもある。T字路に多い印象であった。お供えの花や食べ物がおいてあり、地域住民が定期的に手入れしていることがうかがえる。



2

危険

急な坂

ここは急な坂になっている。車で降りる際に特にスピードが出ないようにする必要があるため、危険だと感じた。標識がなかったので注意を促すものがほしいと感じた。



3

危険

無造作な竹林

民家が少なくなったため、自然の状態が荒れている。災害が起こった際に二次災害になる可能性がある。手入れが必要である。この奥は空き家であった。



4

葡萄栽培ハウス

ここでは葡萄がハウスの中で栽培されている。特にこの地域は葡萄の栽培を行っている農家が多いため（住民談）ハウスの数も多い印象であった。



5

記念碑

昭和52年に建てられた。第二次農業構造改善事業に関するものである。昔この記念碑後方には上名貫神社の旧境内にあった天神池があったとされる。



6

景観

棚田

緩やかな棚田がある。日当たりがよく、水がきれいだった。ここでももう田植えは終わっていた。葉の手入れが入っていないため、少し景観が損なわれている。



7

河野果樹園

道端の駅葡萄畑

5月20日時点ではシーズンではなく閉まっていたが、シーズン中はぶどうとプラムを販売している直営所である。



8

名貫川

流れの速いきれいな川。手入れが行き届いていないため、全体が見渡しづらい。



9

景観

コンクリートの山

放棄されているのか、わざとなのか分からないほど乱雑に置かれている。自然のためにも撤去してもらいたい。また、景観も損なわれることに加え、さらなる不法投棄を招く恐れがある。



21

カーブミラー

担当地区のところどころに見られた。道が狭く農耕車が多いから、サイズの多いものがあった。子供が飛び出さないような配慮がしており、農業地区ながらも住みやすい街づくりを目指しているように感じた。



22

たぬき

田んぼが続いている道で遭遇。雑食性であるたぬきが発見されたことは豊富な自然資源があるということを示す。しかし田んぼを見るとたぬき対策をしておらず農作物が荒れる問題があると感じた。



23

ハニークラブハウス

都農町でただ一つのカラオケ店である。2022年の12月にオープンしたばかりであり、カラオケジョーズ跡地に建設された。営業時間は2:00から22:00である。地域の人々が交流できる場であるので、地域資源であると考えた。



24

空き家

田範囲内ではいくつか空き家のようなものが見られ、特に古びた印象だった建物。ドアや床板が見られなかったことから、牛などの動物の飼育小屋であったのではないかと考えた。中には古いテレビや洗濯機が放置されていたため、長いこと使用されていない様子だと窺える。周辺の木柵や柱はところどころ朽ちており危険に感じた。



10

危険

急な坂（2）

急カーブと急勾配が合わさっている道。危険を感じた。交通事故が起こりそうだった。街灯も少なかった。



13

上名貫神社

菅原道真を御祭神としている神社。出世や学業にご利益がある。参拝者が少なく、掃除が行き届いていなかった。また、境内の途中から簡単に入ることができるが、マナー的には鳥居から入る方がより良いとされるため、導線を張り境内とその範囲外で区別すると良いと考えた。



14

水神様

地域でまつられている水神様。毎年祭を行っている（感謝祭）主に作物の豊作を願っている。都農町の土地となっている。



15

景観

たなか屋

御飯屋さん。ポリウーミーであるため、満腹になれる。景観が汚れているため入りづらい。営業しているのもっと主張して欲しい。



12

赤しそ畑

小さいスペースで大量に育てられている。収穫済みの様子。日当たりがよい環境であった。



17

田んぼ

平らに広がっている田んぼ。常にきれいに管理されており、雑草が少なかった。足場が安定しないため、手入れの際のけがが発生しそうだった。



18

危険

無造作な竹林（2）

川南町との境目の竹林。竹が切ったまま放置されているため、荒れていた。また、影が濃く発生すると怖い感じがした。夜は通りたくない。



19

たばこ自販機・自販機

昔は有人のたばこ販売店だった形跡があった。今は無人になっている。開けた空間に設置されており、買いやすい雰囲気であった。



20

景観

町境

国道10号でつながっている。影が強く、開けている川南が栄えている錯覚を覚えてしまいそうだった。何も無いイメージがつきそうだった。

・畑仕事をしていた、農家の方

Q.普段暮らしていい所は？

A.自然が豊かで山も川も海もあるところ。また、その自然を生かした、半自給自足のようになれるところ。

Q地域の人達はどのような仕事をしているのか？

A.住民の8割以上が、町の特産であるブドウを栽培している。

Q暮らしていて困るところは？

A.主に冬に子供たちだけで遊べるような場所がない所。（夏は近くに川や海がある）

河野果樹園の方

Q.今現在直売所が閉鎖している理由とは？

A.いまは葡萄のシーズンではないため直売所を開けていない。6月後半からデラウェアの販売を始める。

Q.果樹園を経営するにあたってのこだわりとは？

A.化学肥料を使わず育てる事、またその中で見た目のきれいさを心掛ける事。

Q.シーズンオフは何をしているのか？

A.土の手入れをしたり、ビニールハウスの張り直しなど、シーズン中より力仕事が増える。

編集後記

私が都農町を訪れて感じたのは、自然の豊かさである。都農町は、都農ワインが有名で、ぶどう栽培が盛んであることは知っていたが、住民の八割がぶどう栽培に携わっていることは知らなかった。また、地元住民に都農町の良さは何かと質問したところ、「山、海、川全てあって、自然豊かなところ」と答えてくれた。このことから都農町の自然の美しさ、素晴らしさを読み取ることができる。しかし、都農町には課題もあることがわかった。子供ずれの方に話を伺うと、「保育園が遠くて、送り迎えが大変であり、公園の整備も行われていない」と話をしてくれた。都農町の自然の豊さを伸ばしつつ、地元住民の意見も聞き、皆が暮らしやすい町を実現することができれば、より素晴らしい町になると考える。